

プチヴェールの省力・多収を目指した栽培技術

＜要約＞ 省力かつ多収を狙う栽培技術としては、基肥を入れず、7月10日頃定植し、9月1日頃に最初の施肥を行う作型が有効である。

＜プチヴェールとは＞

ケールと芽キャベツを交配させたアブラナ科野菜で、芽キャベツ同様に腋芽を収穫する。ビタミンやカルシウムを豊富に含むことから、栄養価の高い野菜として需要が高まっている。また、販売価格も高く取引されていることから、生産者にとってメリットのある作物である。

(近年「プチヴェールルージュ(紅)」や「プチヴェールホワイト(白)」などの品種も登場し、益々利用の幅が広がりつつある。)

＜背景・ねらい＞

プチヴェールは腋芽を商品とする作物であることから、葉数を多くすることが増収のポイントとなる。しかしこれまでは栽培初期に発生する「シュート」と呼ばれる売り物にならない腋芽が問題となっており、その発生原因や、発生を抑制させるための栽培方法や肥培管理技術の確立が求められていた。

＜成果の内容・特徴＞

- ア) 展葉数は定植日が早くなるほど多くなる傾向が見られた。(図1)
- イ) シュートは施肥日が遅くなるほど少なくなる傾向が見られた。(図2)
- ウ) 7/10定植における最適な施肥時期を検討した結果、7月1日起算で62日後、すなわち9月1日頃が最適な施肥時期であると考えられた。(図3)
- エ) 「シュート」の発生時期は9月末までで、10月以降の発生は微量であった。(図4)
- オ) 省力・多収の作型図

作付表	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	△		◎	◆					
凡例	△定植		◎施肥1回目	◆施肥2回目					

＜成果の活用面・留意点＞

- ア) 基肥を入れず追肥で生育をコントロールする技術であることから、前作の残肥には注意が必要である。
- イ) 追肥はIB化成S1号を株元に144gずつの局所施肥とした。(「N・P・K:1.6-1.6-1.6」/a)
(全面施肥の場合は施肥量を若干増やす必要があると考えられる。)
- ウ) 栽植様式は、畝幅1.2m、株間75cm、1条植えとした。(111株/a)
- エ) 登録農薬が少ないため、作期を長くした本栽培方法では、計画的な防除が必要となる。

表1 3年間のデータ

	定植日	施肥日	展葉数	主茎長	茎 径	シュート	収穫見込	定植日 (7/1起)	施肥日 (7/1起算)
2013	7/10	7/10	180.8	73.3	60.0	44.2	136.6	10.0	10.0
	7/10	8/20	164.0	63.8	44.4	13.2	150.8	10.0	51.0
	7/10	9/01	174.4	70.0	49.6	18.4	156.0	10.0	63.0
	7/10	9/10	165.8	63.6	44.8	17.4	148.4	10.0	72.0
	8/20	8/20	118.4	50.2	43.8	6.6	111.8	51.0	51.0
2011	7/10	7/10	157.3	68.5	52.1	50.9	106.4	10.0	10.0
	7/10	8/10	154.7	66.5	50.0	25.6	129.1	10.0	41.0
	7/10	9/10	139.3	63.7	37.2	5.2	134.1	10.0	62.0
	7/10	なし	129.7	60.7	45.2	21.2	108.5	10.0	
	8/10	8/10	109.2	58.8	46.0	28.9	80.3	41.0	41.0
	8/10	なし	87.5	46.7	36.5	7.0	80.5	41.0	
	9/10	9/10	63.0	38.0	34.2	0.0	63.0	62.0	62.0
2010	9/10	なし	63.0	29.0	28.0	0.0	63.0	62.0	
	7/10	7/10	158.0	80.0	54.0	40.0	118.0	10.0	10.0
	7/10	なし	129.0	61.9	33.6	0.8	128.2	10.0	
	7/25	7/25	125.5	61.5	39.5	31.0	94.5	25.0	25.0
	7/25	なし	95.8	46.6	31.2	0.0	95.8	25.0	
	8/10	8/10	85.5	41.0	31.0	7.0	78.5	41.0	41.0
	8/10	なし	78.8	41.0	31.0	0.0	78.8	41.0	
	8/25	8/25	56.8	33.3	26.8	0.0	56.8	56.0	56.0
	8/25	なし	56.8	33.3	26.8	0.0	56.8	56.0	
9/10	9/10	54.0	31.5	28.5	0.0	54.0	62.0	62.0	
9/10	なし	46.2	26.2	24.7	0.0	46.2	62.0		
合計			2593.5	1209.1	898.9	317.4	2276.1	725.0	657.0
n=			23	23	23	23	23	23	15
平均			112.76	52.57	39.08	13.80	98.96	31.52	43.80
補正項			292445.32	63561.86	35131.36	4380.12	225244.84	22853.26	28776.60
偏差平方和			2417.89	312.97	186.05	820.75	1247.41	1344.80	2253.20
不偏分散			604.472	78.242	46.512	205.188	311.852	336.200	563.300
標準偏差			24.5860	8.8455	6.8200	14.3244	17.6593	18.3358	23.7339

※相関係数行列

変数	展葉数	主茎長	茎 径	シュート	収穫見込	定植日 (7/1起)	施肥日 (7/1起算)
展葉数	1.000	0.959	0.896	0.729	0.948	-0.921	-0.360
主茎長		1.000	0.902	0.784	0.869	-0.919	-0.521
茎 径			1.000	0.877	0.744	-0.737	-0.595
シュート				1.000	0.472	-0.623	-0.852
収穫見込					1.000	-0.896	-0.044
定植日						1.000	0.359
施肥日							1.000

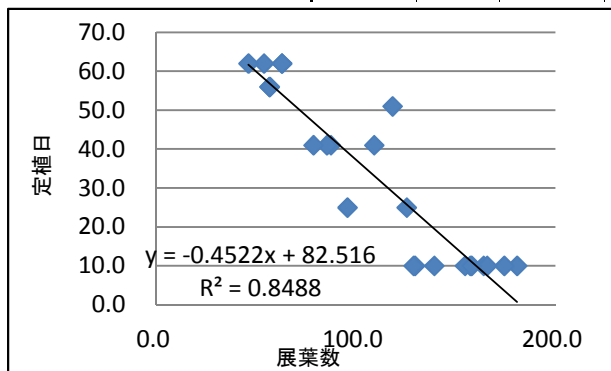


図1 定植日と展葉数の関係

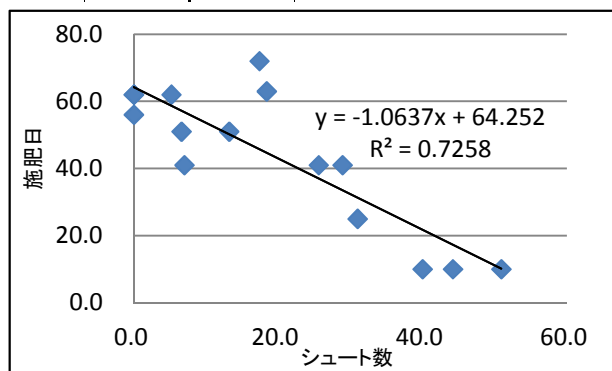


図2 施肥日とシュート数の関係

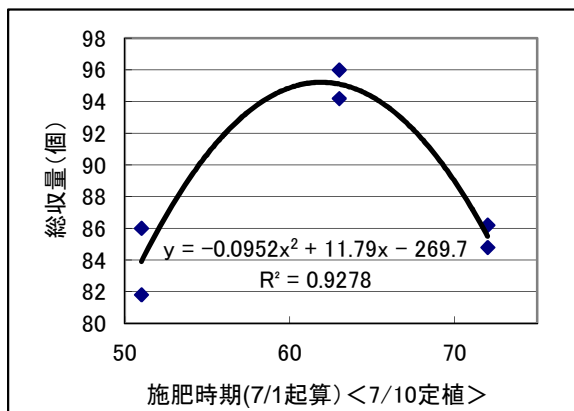


図3 最適な施肥時期の検討(7/1起算)(2013)

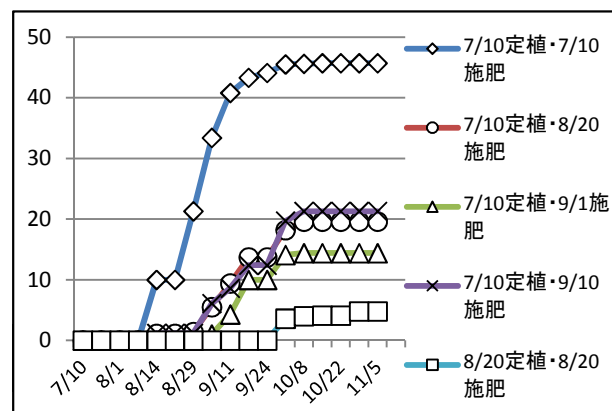


図4 シュート発生の推移(2013)